

SDGs 宣言書

2024年4月1日

株式会社 長谷川建設 代表取締役 長谷川 晃夫

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組	関連するゴール
人権・労働	社員皆の心と体が健康で、安心して仕事ができる企業	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営優良法人に認定を継続できるよう、年齢や性別に関係なく働く人すべてのワークライフバランスを推進します。 育児、介護休暇の導入や長時間労働の削減等、働き方改革への対応を継続します。 	
環境	地域に根ざした企業活動を通じて、地域の発展に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動影響の軽減や持続可能な消費形態を確保して、周辺環境の保全と作業の円滑化を図ります。 資源循環や環境汚染防止対策に対して積極的に推進します。 	
内部管理・組織体制	仕事や行動に責任を持ち、互いに技術を高め、地域に貢献できる企業風土を創造する	<ul style="list-style-type: none"> 社員すべてに公正な質の高い教育を確保して学習の機会を促進します。 社員の可能性を最大限に生かせるようコンプライアンス研修や資格取得支援制度を充実させていきます。 定年者への雇用延長や社員への報酬制度等の導入により働き方改革を推進します。 	
製品・サービス	地域の皆様に質の高いサービスを提供し、地域にかけがいのない価値のある企業	<ul style="list-style-type: none"> 事業地域を中心とした協力業者とのパートナーシップを推進します。 地域と連携してインフラの整備やスマートシティの実現を目指して新たな価値創造を進めます。 地域資源の活用を積極的に推進します。 	
社会貢献・地域貢献	社会貢献を通じて地域の皆様に信頼される企業	<ul style="list-style-type: none"> 事業地域の人材を積極採用します。 地域の道路や溝等の草刈りやゴミ拾いによる、地域の美化活動を継続します。 企業の社会的責任を認識し、地域社会への奉仕と還元に努め、未来につながる社会の実現に貢献します。 災害時の復旧工事等による被災者への支援を行います。 	

